

## 流域公益 保全林事業

開田高原地区では高性能林業機械を使用した間伐作業が進められています。

プロセッサによる枝払い、玉切り



スイングヤーダによる集材



## 緑の祭典



五月三日、木曾町開田高原において「第十六回木と緑のフリーマーケット」を開催しました。旧開田村森林組合当時から行われており、開田高原の定例行事として定着しており、別荘住民や地域住民が大勢訪れました。

## 役員会開催

去る六月十六日役員会が開催されました。木曾谷における間伐の推進は、上・下流協定により加速される中、伐採木の有効利用が大きな課題となっており、今まで具体的な対策が講じられていない当組合にとっては、緊急な対応が求められておりその一環として、カラマツ加工の先進地である「協同組合上小林材（理事長 齋藤 敏）」を視察しました。間伐材の大半を占める中目材を間柱及び集成材の原材料であるラミナー（集成材を構成している板のこと）



に加工し、集成材メーカーに提供

し、未利用の中目材の有効利用を図る流通加工施設であります。

原木の皮ハギから全工程機械化によるシステムとなっております

おり、この一部でも木曾谷にあればと思わせる工場でありました。

## あとがき

昨年度を振り返った場合、「激動の十七年度」と表現されるだろう。経営状況もさることながら、組織とは？ 経営者とは？ といった極めて基本的な事柄が問われた年であった。いまさらと感じる部分もあるが、問うべきは問い、明日へ活かすべく努力は強く求められる。

